

SC-IB NEWSLETTER

2025/09/23 発行

I 10・11 月の茨城県連盟・日本連盟事業 ※会議等は除く

月日	名称	主催	内容
10 月 5 日	第 5 地区開設 定型外訓練	第 5 地区	楽しいプログラム開発についての研修です。
10 月 11 日	第 4 地区開設 定型外訓練	第 4 地区	前回から引き続き、プログラムプロセスの研修です。今回はハイキング体験を採り入れます。
10 月 18 日 ～19 日	JOTA-JOTI 2025	世界スカウト 機構(イベント 国際委員会)	ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA)とジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)はスカウト運動で最大級の公式国際事業です。
11 月 1 日	安全危機管理 研修 STEP2	指導者養成 委員会	事故に至らないような安全の管理、事故が起きた時の対処などを実技を通して修得します
11 月 16 日	第 3 地区開設 定型外訓練	第 3 地区	プログラムプロセスについての研修です。

II 県連盟からのお知らせ

1. 第 19 回日本スカウトジャンボリー現地説明会報告 (若林副理事長)

8 月 9 日に開催された第 19 回日本スカウトジャンボリー(略称: 19NSJ)の現地説明会の報告を掲載いたします。第 19 回日本スカウトジャンボリープレ大会も開催中でした(広島/岡山/山口/愛媛/鳥取/島根/徳島/香川の各連盟約 500 名が参加)。

第 19 回日本スカウトジャンボリー概要

- ・テーマ:「挑戦 ～神石から未来への一步～」
- ・会期:2026(令和 8)年 8 月 4 日(火)～10 日(月)6 泊 7 日間
- ・会場:広島県神石郡神石高原(じんせきこうげん) (JR 福山駅から車で約 1 時間)
- ・地勢:仙養ヶ原に広がるキャンプ場を含むテーマパーク「神石高原ティアガルテン」と隣接するゴルフ場「カントリーパーク仙養」とその周辺を会場とする。
- ・気候:標高約 700m あり、朝晩は 20 度程度、半袖では肌寒い。
但し、日中は気温が上がり 35 度を超える日もある。WBGT も警戒レベルまで上がる。
- ・参加者:ボーイスカウト及びベンチャースカウトを参加主体とし、活動を支援する成人指導者と共に派遣隊/班を編成。
- ・参加人員:8,000 人

ボーイ/ベンチャースカウト	4,800 人(160 個隊)
上記の引率指導者	1,200 人
外国連盟、ガールズスカウト、関係諸団体等	400 人(10 個隊)
大会運営スタッフ、派遣団本部スタッフ	1,600 人

※茨城県は 3 個隊 120 名、運営スタッフ 30 名を予定

現地概要図



現地説明会抜粋

・総務部門

医療チームと国際班を含む。

運営スタッフ: 希望部署による配属。希望が偏った場合には希望外の部署配属もあり。

割当人数に対して大幅に少ない場合は派遣隊数を含めて調整する場合あり。

・プログラム部門

場内プログラム班、地域プログラムグループ(4班)、全体行事班

ベンチャースカウトのプログラム

ボーイスカウトとの共通プログラムは設定無し。

独自プログラムは場外での活動を予定。事前に所属団隊長承認済み計画書提出要。

大会運営の為の奉仕活動例: 朝/夕の国旗掲揚/降納

サイト/飲用水制限上、ベンチャースカウトを本部奉仕隊の別枠で受け入れる予定は無し。

場外プログラム: 全参加者が1回場外プログラムに参加できるよう計画。

場内外プログラムにて平和に関するプログラムを取り入れるよう計画中(広島他)。

・輸送部門

派遣隊バス

乗降は会場内の東西路「町道郷仙養原牛の首線(ふれあいロード)」沿いで調整中。

大型バスは高速道路のサービスエリアにて時間調整(現地待機場所なし)。

午前8時頃～夕食前の時間帯に入場、入場日は開会式のため配給時間までに入場要。

大会運営スタッフや見学者

中国バス「東廻り油木・東城線」(JR 福山駅～会場近くを通る路線バス) 平日 8 往復運行。

増便/延伸/シャトルバス運行を検討中。

資器材輸送には JR コンテナが利用できない為 JITBOX を利用。

野営資材の有償斡旋検討中(予約制)。

保護者による会場下見は想定なし。期間中の見学は事前予約制にて実施。

・配給食堂部門

地元食材を取り入れた献立を検討中。氷は配給または有償斡旋を調整中。

売店エリアにて日用品を扱う予定、コンビニは予定無し。

・広報部門

19NSJ インフォメーション第1号と19NSJ Bulletin(海外向け情報)配信予定。

・会場運営部門

サブキャンプ方式で運営。

会場はグリーンとバンカーは設営禁止。派遣隊 1 個隊あたり 600m² で計画中。

テントは仕様や大きさに制限無し。側溝掘削は不可。使用後に穴が残る様な太い杭も不可。

ゴルフ場の会場はティー/バンカー/グリーン等は立入禁止。直火禁止、側溝等の掘削禁止。

テント位置は期間中に極力変える(芝生養生に配慮)。使用後はペグ跡を無くす。

炊事燃料は薪(ナタの使用等十分に指導を)、芝保護の防災/不燃材/難燃シート等利用を。

照明用ガス燃料は検討中。

水場はサブキャンプ毎に 2~3 か所、4 個隊に 1 口の割合で蛇口設置。

排水は給水場に隣接して汚水枡を設置。

シャワーは 2 箇所設置予定(96 口/1 箇所)、身障者用も計画。農業用水浄水シャワー/洗面。

トイレ配置は計画中。

会期中、会場内における個人車両使用は不可(救急車等特殊車両は例外)。

サブキャンプ広場は全参加者の広さはない。各サブキャンプに営火場を設けるかは検討中。

通信環境が厳しく、参加者向け Wi-Fi、大会運営用 Wi-Fi とも未定。充電対応は調整中。

・スタッフ生活

サブキャンプ本部スタッフと夜間保守スタッフ以外は成人生活エリアでキャンプ生活。

成人生活エリアは神石高原ティアガルテンのキャンプ場内を予定。

生活に必要な個人装備品と宿泊用のテント等は各自持参要。

Ⅲ 各種委員会よりのお知らせ

1. 指導者養成委員会 (郡司委員長)

10~11 月の指導者研修は以下を予定しています。

10 月 5 日 第 5 地区開設定型外訓練 (楽しいプログラム開発)

10 月 11 日 第 4 地区開設定型外訓練 (ハイキング(プログラムプロセスその 2))

11 月 1 日 安全危機管理研修 STEP2 会場: 笠間市地域交流センターいわま

11 月 16 日 第 3 地区開設定型外訓練 (プログラムプロセス)

各地区開設の訓練事業は、地区からの案内があり次第、県連の指導者養成委員長を通して、各団に発信いたしますが、お問い合わせは各地区の事務局へお願いいたします。

2. イベント国際委員会 (園部委員長)

1) ベンチャーラリー2025

今年度もベンチャーラリーを開催いたします。

各地区には実行委員の選出をお願いしてありますのでよろしくお願いいたします。

第 1 回実行委員会は下記のとおり開催いたします。

・日時 9 月 27 日(土) 15 時~

・会場 笠間市地域交流センター「トモア」友部駅南口隣接

※多数のベンチャースカウトの参加をお待ちしております。

2) IB グランプリ 2025

今年度の IB グランプリ 2025 県大会の開催概要は以下の通りです。

- ・時期 2025 年 12 月 7 日(日)
- ・会場 ひたちなか市松戸体育館

また、今年度からレギュレーションが一部変更になりました。

- ・A クラスのレギュレーションを B・C クラスと同一とします。
様々な車両が見られるようになったため、競技の公平性を保つために、クラス別のレギュレーションを統一しました。
- ・ゼッケンの貼付場所を「車体の上部」から「車体の上部または前面とする」に変更しました。
上部はデコレーションが多くて貼りにくい、車両の前後がわかりにくい、等により、上部または前部といたしました。

なお、デザイン賞は今年も昨年度同様に実施いたします。

3. 地域連携・広報委員会（富田委員長）

1) 令和 7 年度「撮っておきの写真コンテスト&茨城県連盟カレンダープロジェクト」

5月28日にお知らせの通り、令和7年度の「撮っておきの写真コンテスト&茨城県連盟カレンダープロジェクト」を実施中です。応募は9月末までですので、お手元の写真は至急ご応募ください。10月初旬の理事会で写真を選定し、カレンダーを11月末頃にはご案内したいと思っております。

2) 高萩スカウトフィールド活用事業(親子デイキャンプ)

今年度の親子デイキャンプは11月22日(土)に高萩スカウトフィールドにて開催予定です(主催:高萩スカウトフィールド活用事業実行委員会、共催:高萩市教育委員会&ボイスカウト日本連盟)。

県内各地区のローバースカウト、隊指導者、団委員各位からのスタッフ奉仕につきまして9月3日に依頼信を発信しておりますので、ぜひご協力の程お願い申し上げます。スタッフ目標人数は約18名です。

4. 21IC 実行委員会（園部実行委員長）

第 21 回茨城県キャンポリーの実施報告

第 21 回茨城県キャンポリーは8月8日～11日の間 高萩スカウトフィールドにおいて開催されました。コロナでの中断があり9年ぶりの開催でした。

スカウト達は様々なプログラムに挑戦し、他団のスカウト達とも共に活動して心身共にスキルアップしたことと思います。またカブ・ビーバースカウトの見学者も多数参加していただきました。

天候は多少不順でしたが熱中症アラートが発令されることもなく、若干の体調不良者はおりましたが大きな怪我などもなく、無事に閉会できました。

指導者の皆さま、奉仕者の皆さまご協力ありがとうございました。

・参加状況

参加団 33 個団、スカウト 145 名、指導者 61 名
奉仕者 98 名(全日+短期)、合計 304 名

・見学者

参加団 11 個団、スカウト・指導者 142 名、保護者・兄弟など 44 名



5. 茨城ローバースカウト協議会(茨ロー会) (高松学識経験理事)

1) Link Up Camp (交流キャンプ)を実施しました！

8月23日～24日に茨ロー会では、「Link Up Camp」を実施しました！茨城のローバースカウト同士の交流を深めることを目的としたキャンプで、水鉄砲作成などの楽しいプログラムを行いました！楽しいプログラムを通じて、ローバーの仲間同士の絆を深めることができました！



※ 「Link Up」には「人と人が繋がること」や「通信可能な状態になること」という意味が含まれています。

2) 災害支援募金を実施します！

茨ロー会では、被災地ボランティア事業の一環として、災害支援募金を実施します！

・日時・場所

10月18日(土) 水戸駅南口
10月25日(土) 守谷駅東口

・募集期間

1回目(水戸駅南口): 9月13日(土)~10月17日(金)

2回目(守谷駅東口): 9月13日(土)~10月24日(金)

募集活動の詳細や申し込み方法については、茨ロー会のLINEグループやInstagram(下記のQRコードから開けます)でお知らせします!

なお募金活動の参加募集はすでに開始していますので、各地区・団ではローバースカウトへの周知をお願い申し上げます!

LINE グループ QR コード



Instagram QR コード



6. JOTA-JOTI 2025 へのお誘い (つくば第1団 柏原賢一)

本年も、世界スカウト機構が実施する公式国際行事である、ジャンボリー・オン・ジ・エア(JOTA)及びジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)が実施されます。

これはスカウトがアマチュア無線やインターネットを通じて国内各地や外国のスカウト仲間と交信・交流し、お互いを理解し、知識と友情を深めることを目的としています。



今回も、つくば第1団アマチュア無線クラブ(JN1ZLK)では、茨城県連盟内のアマチュア無線免許所持者をゲストオペレーターとして広く受け入れると共に、2023年の電波法改正による免許の無い方も「体験者」として指揮者の元で無線交信が出来るようになりましたので(JOTA参加の場合。JOTIは免許不要)、茨城県第4地区事業として展開いたします。また、県内からの参加者を広く募集いたします。

アマチュア無線運用周波数帯は、電話7MHz帯・21MHz帯・144MHz帯・430MHz帯を予定しています。過去の実績は、北は北海道から、南は沖縄・台湾中国・韓国あたりの各地と交信しております。もちろん当日の電波コンディションによります。毎回一般局も含め、100局以上と交信しております。

ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)では、国内外とより簡単に交流できることもあり、アマチュア無線の免許も不要ですので、こちらにも積極的に参加して戴けるよう準備いたします。

※なお、期間中の出入り(塾・部活に行く・通い等)は自由ですが、参加される団/隊/個人のご予定は予めお知らせください。

日時: 10月17日(金)15:00~10月19日(日)16:00(撤営後解散)

場所: つくば市高野(こうや)1250-4

柏原賢一(つくば第1団 団委員長)自宅前の森キャンプ場(地図は下図参照ください)

参加費: 宿泊者のみ¥1000/泊/人(食費に充当します)

家族泊は、家族構成を配慮して集金します(最大で人数分です)

連絡・申込先: 各団取りまとめの上、ご連絡ください。

柏原賢一 携帯 090-8331-7883 (自宅 FAX 029-847-8408)(平日は 19:00 以降にご連絡ください)

メール: kenichikashiwabara@gmail.com

申込期限: 10 月 10 日(金)迄 (期限が過ぎても参加可ですが、準備の為の人数把握です)

備考: つくば第1団 柏原賢一(団委員長)管理の元、通い、またテント泊可とします。

泊は基本テント・家族であれば大型テント泊可、テントの貸し出しは可能な限り対処します

注意事項:怪我等の保険は、各団・個人の対応でお願い致します。*アレルギー・持病はお知らせください



V 各地区・各団の活動紹介

1. 水戸第8団 上進式、入団式 (水戸8団 園部康夫)

水戸8団は今年度から上進時期を4月から8月に変更しました。

9月7日に上進式、入団式を実施しました。また新しい仲間が増えました。



2. 城里第1団 霞ヶ浦湖上体験 (城里第1団 市川勝一)

城里1団カブ隊とビーバー隊 18 名(体験入隊者 3 名を含む)は、8 月 10 日(日) に土浦市霞ヶ浦 環境科学センターを訪問し、「安全な水とトイレを世界中に(SDGs 目標6)」を遊覧船による湖上体験で身近に感じつつ、霞ヶ浦の水質、茨城県全体の水利用と水の問題について考える機会となりました。

まず、土浦港から遊覧船に乗り、霞ヶ浦の歴史、他の湖より水深が浅いこと、アオコ大発生、現在の湖水の使われ方等、途中(株)ラクスマリーナのスタッフの方から丁寧な説明を受けながら、掛馬自動観測所付近まで移動しました。船を止めてから、水サンプリング装置、水の透明度を測る器具を船上から投げ入れて実際に測定を行い、サンプリングした水中プランクトンを顕微鏡で観察し、汲んだ水と水道水の違いの匂い比べを体験しました。実体験を通して、スカウトたちは普段周りにある水道水と湖水の違いを感じられたと思います。



説明を真剣に聞くスカウトたち



湖水をサンプリング中

次いで、霞ヶ浦環境科学センターにて、エントランス中央の床に描かれた 100 年以上前の霞ヶ浦周辺の地図から、その時代の人々の暮らしを想像しつつ、霞ヶ浦に棲む魚や環境の変化を学びました。クイズにはスカウトが本気で答えを探していました。



エントランスにて集合写真

安全に飲める水が普通に身の周りにある事の大切さが、実体験を通してスカウトたちの心のどこかに残る活動になったのではと思います。今回は施設利用と見学が主な活動になりましたが、次回はチャレンジ章に繋がる活動を盛り込みつつ、スカウトが楽しく、霞ヶ浦周辺の自然をもっと身近に感じられるような活動にしたいものです。

3. ひたちなか第1団 団通信第1号発行 (ひたちなか第1団 磯崎幸子)

このたび発団から53年目にして初めて、団通信「ひないち」第1号の発行をすることができました。9月と3月年2回発行します。

広報誌担当の団委員が中心となり、団年間事業や、市の事業、奉仕活動、また各隊付きの団委員は隊活動の様子や写真を記録し原稿にまとめて、団委員全員で校正、印刷まで行い、発行にこぎつけました。

長年の課題でありました団通信の発行ができましたことを報告します。

ひないち通信

2025年9月発行 Vol.01

わくわく自然体験 in 団キャンプ

活動レポート!

団キャンプ2日目、青少年課から依頼を受けた「わくわく!自然体験!」を開催しました。今回は、モンキーブリッジ、キムスゲーム、クラフト、火おこし、ツイストパンを履脚!各ブースを巡り、ツイストパン作りに辿り着く頃にはお腹ペコペコ…。様々な出来立てに美味しい!もっと食べたい!と大喜びでした。ボーイ隊&ベンチャー隊スカウトも支援を頑張りましたので、ご褒美に買って、ニコニコです。

団キャンプ

【場所】長砂公園
ひたちなか市新光町

わくわく自然体験

【場所】ひたちなか市 水性中央公園
ひたちなか市長郷

2025年前期の主な団行事

- 4月20日 団総会
- 5月3～5日 団キャンプ
- 5月4日 わくわく自然体験
- 7月5日 セタまつり
- 7月12日 野営場整備
- 8月17日 ひたちなか祭り
- 9月14日 スカウトの日

団行事以外の、各隊ごとの活動は中絶で紹介しています。皆がどんな活動をしているか見てみてね!

ビーバー隊

2025年度のビーバースカウトは20人でスタート!はじめは緊張していたスカウト達も野営場での活動や団キャンプ、ザリガニ釣り、書画活動などを通じ、とんぼん痴人になってきました。

7月の西山研修所では竹で水鉄砲作り、ドラム缶風呂やスイカ割りを楽しみ、キャンプファイヤーではマルマルを踊りました!(家に帰っても口ずさんでいるスカウトがいるかも?)

8月にはひたちなか祭りであんな元気いっぱい踊ることができました。これからも皆さんと仲良く、スカウト活動をしていきましょう。

IBグランプリ 結果発表!

2024年12月から2025年3月にかけて開催された「IBグランプリ」において、ひたちなか第一団から入賞者ができました!おめでとうございます!

県大会出場

【ビーバー】8名
【カワゾ】8名
全員の活躍を絶賛できず、ごめんなさい!

カワゾ隊

4月12～13日、野営場でカブキャンプを実施。うさぎスカウトには初めてのキャンプでしたが、興りと協力してテント立てや食事作りを行うことができました。

6月8日、ひたち海浜公園にて道徳ハイクを行いました。各所に配置された道徳サインを読み解きながら、船ごとにゴールを目指しました。ゴールした後、昼食のおにぎりをとても美味しく食べていたのが印象的でした。

7月の舎営にてペットボトルで筏を作成し、8月30日、湖沼で筏遊びを行いました。

ボーイ隊

4月19日、野営場にてデイキャンプを行いました。まず、ザックの中身の整理をするパッキングをし、その後、荷りたみ帽子や寝袋、マット等すべての物を入れたザック、更にはいつもの用意を入れたザックを前に背負って歩行訓練を行いました。ボーイ隊になって初めてのスカウトには大変だったと思います。その他、チームデパート設置訓練をしました。書きがある中、みんな頑張りました!!

6月1日、野営場にて総集会を行いました。朝の前からドラムとツバメ組に決まったので、それぞれ考えた旗のデザインを出し合い、かっこいい旗が完成しました!その後、コンパスの使い方のおさらいとコンパスを使ったゲームをしました。また、組旗立てやかまど作りもしました。

6月14～15日、7月19～21日、水戸4団野営場にて地区合同訓練キャンプを行いました。8月の県カンパニーに向け、日本プログラムのルール確認と火起こし訓練、簡易テント立ての訓練をしました。スカウトショップでは、Tシャツやキャップ、パッチ、サバイバルシートなどが売っていて、スカウトはお小遣いで好きな物を買ったようです!!

県カン最高!!

8/8より3泊4日で、第21回県カンパニーが9年ぶりに高森5Fで開催されました。私達ひたちなか1団は、水戸1団、水戸8団と混成隊として参加しました。初日には距離のあったスカウト達ですが、混成隊の仲間と日本一チャレンジや大会プロに参加し、最後の夜には1つの机をみんなで囲み名残りおしそうに話をしていたのが印象的でした。まさに「スカウトは友情にあふれる大会」となりました。

ベンチャー隊

ベンチャー隊はボーイ隊と共に、野営場でのデイキャンプの他、かまどづくりなども行いました。セタまつり地区合同訓練キャンプ-県カンパニーなどへ参加できたスカウトは少数ではありますが、今までの経験を活かしボーイ隊と共同で充実した活動となりました。その他、滝浜公園での「コキア植え付けと書道び」へのボランティア参加など、ひたちなか市から要請のあった活動へも参加しました。

ローパー隊は活動が次次報告します。

4月27日 団総会

例年通り、ふぁみりこらぽにて開催。大谷町ひたちなか市長をはじめ来賓の皆さまにご挨拶をいただきました。保護者の皆さま、ご出席ありがとうございました。

おもてまちセタまつりに参加し、若い羽根募金活動とパーザーを行いました。ビーバー・カブ隊のスカウトが一息懸命呼びかけた集めた募金の集計は、ボーイ・ベンチャー隊スカウトが協力して行いました。ブースの設置やスーパーボールすくいコーナーの運営もスカウトたちが頑張りました!パーザーでは、父母会もラムネや玩具、ハンドメイド等の販売を行い、予想以上の収益を得ることができました。パーザーで得た収益は、団の活動費と野営場の食糧購入費に充てる予定です。

5月3日～5日 団キャンプ

ひたちなか市長砂公園は初めてのキャンプ場。水場やトイレが近くあって、とても使いやすい場所でした。初日の夕食は差し入れもあり、更に賑やかに。スカウトは天ぷらを挙げてくれる調理師さん。最終日は保護者主催の野外パーティー!父母会や各隊からの料理も盛りだくさんになりました。恒例の流し、そのめでは、スカウト達の笑顔がたくさん見られました。

7月5日 セタまつり

おもてまちセタまつりに参加し、若い羽根募金活動とパーザーを行いました。ビーバー・カブ隊のスカウトが一息懸命呼びかけた集めた募金の集計は、ボーイ・ベンチャー隊スカウトが協力して行いました。ブースの設置やスーパーボールすくいコーナーの運営もスカウトたちが頑張りました!パーザーでは、父母会もラムネや玩具、ハンドメイド等の販売を行い、予想以上の収益を得ることができました。パーザーで得た収益は、団の活動費と野営場の食糧購入費に充てる予定です。

7月12日 野営場整備

作業可能な関係者の皆様で、野営場の整備を行いました。具体的には、各野営場全体の車対り②駐車場部分ガイ用機打ちとロープの張り直し ③不要な木の伐採 ④倉庫内の片付け等の作業を行いました。暑さのなか協力し合いながら約8時間かけて作業していただき、おかげさまで活動場所や倉庫内がすっきりし、駐車場も広くって使用しやすくなりました。また、8月下旬に発生した御木(ゴルフ場へ続く道路側)は、磯崎さんのご家族のご協力でより撤去。9月6日に野営場倉庫の棚卸も行い、不用品の処分、倉庫内の物品リソースの作成も行いました。

8月17日 ひたちなか祭り

毎年恒例のひたちなかまつりでは、練習した踊りをみんな披露。熱中症対策などを行い、楽しく参加できました。

体験集会開催日程

2025年の体験集会は

9月28日(日)

2月14日(土)

です。よろしくお願いいたします。

2025年後期の主な団行事

- 10月26日 ふぁみりこらまつり
- 11月15日 赤い羽根募金
- 11月30日 地区50周年記念式典
- 12月20日 クリスマス会
- 1月25日 勝田マラソン支援
- 2月21～22日 団スキー研修
- 3月29日 上進入隊式

VI 連載コラム ～信仰奨励専門委員会より～

信仰の力



昨今のテレビや、新聞の記事を見ますと、日本への多くの観光客が年々増えていることを報道しています。また街へ出てみると多くの日本人でない人たちがいることを目にします。外見で、あるいは服装の違いで、日本人でないことがすぐわかる場合と、実際に接触してみて、話してみても、お手伝いしてみても、わかる場合とがあります。

あるいは、これまで、日本以外の国へ行ったことがある人は、その行った先で、言葉や習慣が違った為に、困った事や時には助けてもらって、ありがたかったことがあると思います。世界中には多くの宗教があります。外見からすぐわかる服装から、あの人にはイスラム教徒だとわかる人もいます。また実際に話してみても、初めてその人が、その宗教を信じていることがわか

る場合があります。

特に世界ジャンボリーに行ったりすると、世界の国々からスカウトが来るので、多くの異なる信仰を持ったり、関係する人達と親しくなると、他の人と宗教や信仰の話をするようになります。自分の信じる宗教や信仰の事を話し合うことは、その人を理解し、その人の生き方を支援する為にととても大切なことです。

今世界中で、多くの争いが起きています。争いの解決には話し合いによる相互理解が大切です。そのためには、自分の信じる信仰を持つことが、これからの世界の平和のために生きて行く為には、どうしても大切なことなのです。機会があったら、近くの神社やお寺、キリスト教会、その他の宗教施設を訪ねてみましょう。新しい世界が開けてくるかもしれません。

(ひたちなか第1団 横川浩 信仰奨励委員)

